

研究開発用コミュニケーションロボット

人とロボットが豊かに暮らせる社会を実現

概要

卓上での利用を想定した各種コミュニケーションロボット。ロボットクリエイター 高橋智隆氏デザインのSota、瞬きや口の開閉といった表情が表現可能な CommUなど。クラウドを活用して音声によるコミュニケーション可能。また、愛着を持てる外観・デザインで癒やしをもたらす赤ちゃんロボット、かまって「ひろちゃん」も展開。

特徴

- 音声認識・合成・自然言語処理などの機能をクラウド上に実装し、比較的コストなフロントエンド機と組み合わせることで、対話によるコミュニケーションを提供。
- Sota・CommUで構築した、クラウドのバックエンドも含めたコミュニケーションロボット技術を応用し、既知のキャラクターをコミュニケーションロボット化するためのサービスも展開。
- 研究開発モデルの他に、対話機能などがプリセットされた一般販売モデル（ロボコネク）や、プレゼン機能に限定した低価格モデル等も展開。

今後の展開

- 一般の利用者向けに、AI技術を利用したより自然な対話処理の追求や、ユーザーインターフェースの洗練を検討。また、有人の遠隔制御（アバター的な用途）によるサービス提供の用例も増加中。

テーマ（科学技術が描く明るい未来社会～大阪・関西万博に向けて～）への関連

- Withコロナ時代の非接触・非対面のサービス提供や、労働人口減少対策として一人が複数の拠点のロボットを遠隔制御するなどのシステム構築。また、超高齢社会に向けた医療・介護現場への貢献および連携。

